

2025年8月28日

医薬品の適応外使用に関する情報公開

当院では以下の適応外医薬品を用いた診療を院内倫理委員会にて承認いたしました。

実施内容	冠動脈 CT 検査におけるメトプロロール酒石酸塩錠、インデラル注射液の使用
実施責任者	医療法人溪和会江別病院 病院長
対象者	冠動脈 CT 検査を受ける患者様
承認日	2025年8月28日
対象期間	承認後から永続的に使用（適応症が追加されるまで）
目的・意義	<p>冠動脈 CT 検査は心臓の血管の状態を詳しく調べるために行われる検査です。しかし、撮影時の心拍数が高いと画像がぼやけてしまい、正確な診断が難しくなります。</p> <p>検査時の心拍数を下げる薬剤としてランジオロールという注射薬が保険適応で使用可能ですが、頻脈傾向が強い患者様に対しては、本薬剤の投与のみでは十分に心拍数が下がらず、診断に必要な画質を確保することが難しくなることがあります。</p> <p>そのような場合には、メトプロロール酒石酸塩錠やインデラル注射液といった、ランジオロールと同じ種類の薬（β遮断薬）を併用することがあります。併用により必要な画像を得るために必要な心拍数まで下げることが可能となります。これらの薬剤は慢性冠動脈疾患診断ガイドライン（2018年改訂版）においても記載されており、検査の質を高めるために有効とされています。</p> <p>この2剤は保険診療上、冠動脈 CT 検査での前投薬としての使用が認められていません。しかし、ガイドラインの記載を踏まえて、患者様の状態に合わせて、必要に応じて使用しています。</p>
想定される不利益と対策	<p>気管支喘息をお持ちの方や、過去に喘息を起こしたことがある方は、喘息の症状が悪化することがあります。血圧低下や心不全が悪化する可能性もあります。そのため、検査オーダー時に、患者様ごとの状態を十分に確認し、これらの薬を使用することのメリットとデメリットを慎重に検討しています。</p>
お問い合わせ先	<p>〒 069-0817 江別市野幌代々木町 81 番地 6 医療法人溪和会 江別病院 医療安全管理室 電話 011-382-1111 (病院代表) または、担当医に直接お申し出ください。</p>